

1. 人が輝く地域社会の形成について

【北海道の価値創造力の強化】

(道内外・海外との連携強化)

- 道南圏を考えると、津軽海峡圏の交流を外すことはできない。新たな計画において、そういった視点を考慮してほしい。また、北海道新幹線開通を契機に、二次交通網の整備をしながら、人の交流を活性化することにも取り組んでほしい。
- 北海道新幹線は、道南だけのものとして捉えられている感じがする。オール北海道で取り組むということ認識する必要がある。

(地域づくり人材の発掘・育成)

- プラットフォームの展開に当たっては、地方紙も巻き込んだ形での展開ということも良いのではないか。取組・活動を掲載してもらえただけでなく、俯瞰した視点からのアドバイスをもらえることもある。
- 様々な組織が連携することにより、各組織が有する人脈、人材を活用することができる。このような連携は、担当者が変わっても組織の連携を継続し、ネットワークが維持されることが重要。また、全道的に展開される仕組みも必要。
- 地域の人が、地域を愛し、地域の誇りを持つという取組が、地域発展の素地となる。そのような地域に対する愛着は、子供の頃から育むことも重要。

2. 世界に目を向けた産業の振興について

【農林水産業・食関連産業の振興】

(「食」の高付加価値化)

- 北海道は食を供給する役割があるが、原材料を出荷するだけではなく、付加価値をつけることも重要。今まで見向きもされなかったものから、イノベーションにより新たな価値を見出せば、新たな産業が生まれる。イノベーションに係る研究への支援も必要。
- 農林水産業の6次産業化に当たっては、基幹部門で手一杯であり、後継者がいない農家や漁家では難しい。一次産業の担い手だけで完結するのではなく、地域で6次産業化を進める必要がある。
- 安ければ量が売れた時代もあったが、近年は、高くても少量の良いものを食べたいという人が増えてきている。北海道には少量でも良い商品を製造する会社が沢山あり、こういった会社が互いにPRし、コラボレーションすることにより発展することが期待できる。
- 規格外商品の活用や付加価値向上を考えるには、基幹部門を担う人のほか、女性の参画も有望。また、農家だけの対応が困難なのであれば、地域の製造業者が担ってもよいと思うが、そのためには、金融機関等コーディネーターの役割を担う存在が必要。
- 規格外商品など、売れないものを加工して利用することも、地域の製造業者の務めだと考

えている。しかしながら、既存機械で加工するには限界があり、新たな経費が掛かるなど課題がある。

(地域資源を活用した農山漁村の活性化)

- 観光農業を広げるためには、農業と観光のバランス、収穫期の見極めや価格設定など、色々
と難しい部分があり、そういった取組をサポートする人材が必要。地域ぐるみでふれあいの
場を設けるなど、人材育成を行うことで、地域活性化に繋がるものとする。

【世界水準の観光地の形成】

(世界に通用する魅力ある観光地域づくり、観光旅行消費の一層の拡大)

- 道南の観光面では、函館のブランド力は強いが、その他の地域をどうするかが課題。全体
としてブランド力を強化することが必要。
- 観光のオフシーズンを振興し、平準化することも重要。
- インバウンド観光の振興も重要であるが、国内旅行の振興も同様に重要。日本人に人気で
あるならば、外国人も来道すると思う。
- 交流人口の増加により、コンビニやガソリンスタンドなど様々な産業が観光に関わってお
り、観光業は総合産業といえる。地域をあげて北海道に観光客を呼び込むという機運を高
めなければならない。

3. 計画に関するその他のご意見

- 新たな開発計画の中では、取り残された感のあるような地域にも光を当ててほしい。そ
こには間違いなく人が住んでおり、歴史もある。